

令和2年度退職教員の紹介

部 局 名	大学院工学系研究科	
氏 名	船津 公人	
職 名	教授	
本学在職期間	平成16年4月～令和3年3月	
所 属	化学システム工学専攻 反応プロセス工学講座	
専 門 分 野	データ駆動型化学	
略 歴	<p>昭和53年3月 九州大学理学部化学科卒業</p> <p>昭和58年3月 九州大学大学院理学研究科化学専攻博士課程修了 理学博士</p> <p>昭和59年3月 豊橋技術科学大学工学部物質工学系助手</p> <p>昭和63年4月 同上 知識情報工学系助手</p> <p>平成4年4月 同上 助教授</p> <p>平成16年4月 本学工学系研究科化学システム工学専攻教授</p> <p>【兼務】</p> <p>平成23年12月 ストラスブール大学招聘教授</p> <p>平成29年10月 奈良先端科学技術大学院大学データ駆動型サイエンス創造センター研究ディレクター教授兼務</p> <p>【受賞】</p> <p>令和元年8月 Herman Skolnik Award, American Chemical Society</p> <p>令和3年3月 日本化学会学術賞</p>	
研 究 内 容	<p>T. Miyao, H. Kaneko, K. Funatsu, "Inverse QSPR/QSAR Analysis for Chemical Structure Generation (from y to x)", <i>Journal of Chemical Information and Modeling</i>, 56(2), (2016): 286-299</p> <p>船津公人, 柴山翔二郎, 『実践マテリアルズインフォマティクス –Pythonによる材料設計のための機械学習–』, 近代科学社(2020)</p>	